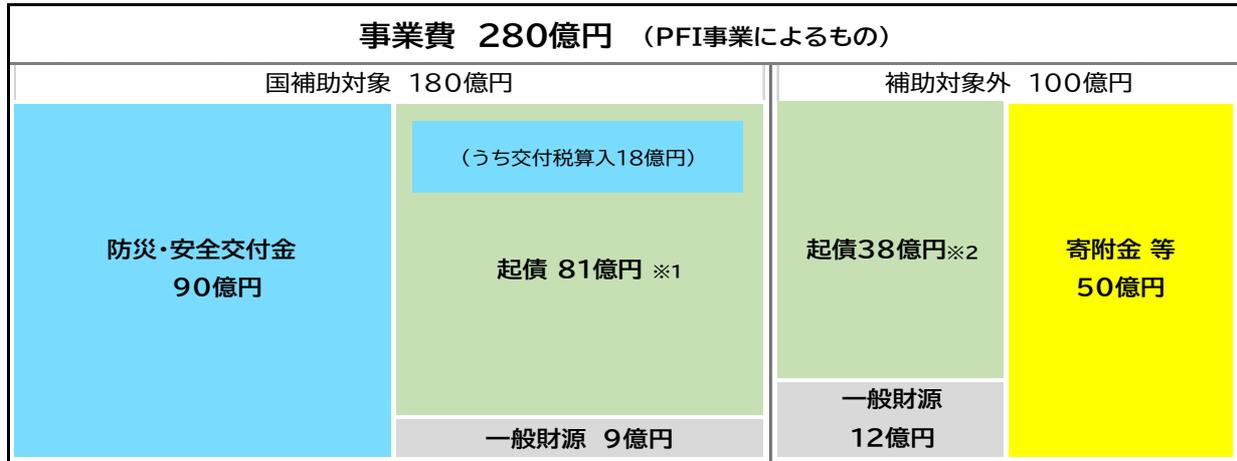


アリーナ整備事業費の財源計画について

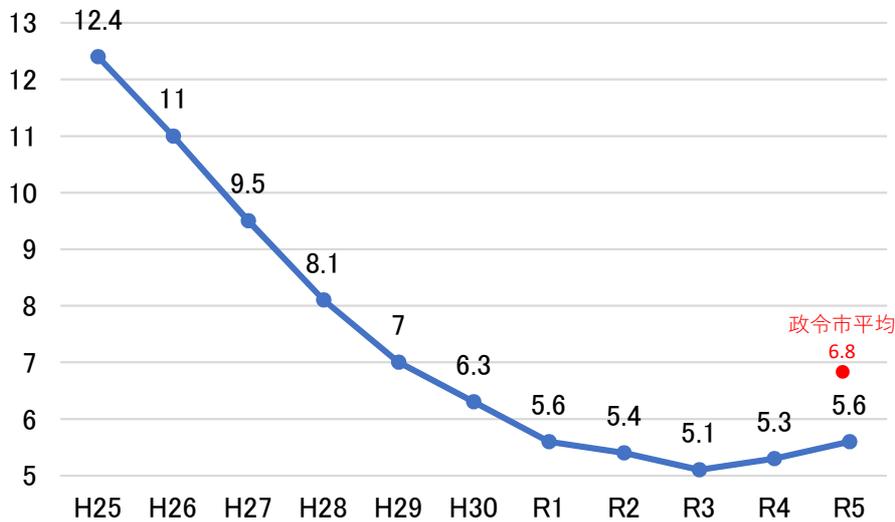


※1 公共事業等債：充当率90%、交付税算入率22.2%

※2 一般単独事業債：充当率75%、交付税算入率0%

実質負担額	
国	108億円 (交付金90億円、起債に係る交付税18億円)
市	122億円 (一般財源21億円、起債101億円)
経済界等	50億円

岡山市の実質公債費比率の推移(%)



○ 交付税算入額を除いた実質的な負担

・ 総額：122億円
 起債：101億円
 (81-18+38億円)
 一般財源：21億円
 (9+12億円)

○ 実質公債費比率

・ 返済額：101億円 ÷ 30年 = 3.4億円/年
 ・ 実質公債費比率 3.4億円 ÷ 2,126億円 = **0.16%**

※ (実質公債費比率) = (返済額) ÷ (標準財政規模 - 交付税措置額)

※ 金利は考慮していない

※その他、道路・公園などの周辺環境の整備や、調査・委託費等も必要となる